

松本清張記念館開館26周年記念講演会

映画史研究家・春日太一 講演会

「松本清張に挑んだ脚本家・橋本忍」

標記の件について、下記のとおり開催します。

多くの皆様にご応募をいただけるよう、紙面への掲載等、よろしくお願いいたします。

記

1 趣旨

松本清張記念館開館26周年を記念し、講演会を開催します。講師の春日太一さんは、映画や時代劇の関係者たちへの取材を軸に研究をつづけておられ、最新刊の「鬼の筆、戦後最大の脚本家・橋本忍の栄光と挫折」（文藝春秋）が、今年、第55回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞しました。また、週刊文春に「木曜日邦画劇場」、小学館の Web サイト小説丸に「映像と小説のあいだ」が連載中です。

2 日時

令和6年8月10日（土）15時00分～

3 場所

北九州市立男女共同参画センター ムーブ 2階ホール  
（北九州市小倉北区大手町11番4号）



4 定員 500名

5 申込み（締切 7月19日〈当日消印有効〉）

松本清張記念館「講演会」係まで（〒803-0813 北九州市小倉北区城内2-3）

【往復はがきの場合】

①代表者氏名、②住所、③電話番号、④年齢、

⑤希望人数（代表者を含む4名まで申込可）、⑥春日先生への質問（任意）を明記

【電子申請】右記コードから申込み



6 講師プロフィール

1977年東京都出身 日本大学大学院博士後期課程修了。

主な著書に「時代劇は死なず!京都太秦の職人たち」（集英社新書）、

「天才勝新太郎」（文春新書）、「仲代達矢が語る日本映画黄金時代 完全版」（文春

文庫）、「あかんやつら 東京京都撮影所血風録」（文藝春秋）、「時代劇入門」（角川

新書）、「時代劇聖地巡礼」（ミシマ社）。最新刊「鬼の筆 戦後最大の脚本家・橋本

忍の栄光と挫折」（文藝春秋）が第55回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。

7 お問い合わせ

北九州市立松本清張記念館 担当：久富（係長）、守口（事務局長）

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2-3 電話：093-582-2761 FAX：093-562-2303

※取材される場合は、取材許可を講師から得る必要があるため、8月2日までに連絡をお願いします。

# 松本清張に 挑んだ 脚本家・ 橋本忍

※橋本忍は映像化の難しい「砂の器」等松本清張作品を見事に脚本化しました。

松本清張記念館 開館26周年記念

## 映画史研究家 春日太一 講演会

講演後、春日太一さんの著作をご持参された方にサイン会を行います。



### 春日太一さんのプロフィール

1977年東京都出身。日本大学大学院博士後期課程修了。映画や時代劇の関係者たちへの取材を軸に研究活動を行っている。

主な著書に「時代劇は死なず! 京都太秦の職人たち」(集英社新書)、「天才勝新太郎」(文春新書)、「仲代達矢が語る日本映画黄金時代 完全版」(文春文庫)、「あかんやつら 東映京都撮影所血風録」(文藝春秋)、「時代劇入門」(角川新書)、「時代劇聖地巡礼」(ミシマ社)。最新刊「鬼の筆 戦後最大の脚本家・橋本忍の栄光と挫折」(文藝春秋)が第55回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。週刊文春に「木曜邦画劇場」、小学館のWebサイト小説丸に「映像と小説のあいだ」が連載中。

「鬼の筆」  
戦後最大の脚本家・橋本忍の栄光と挫折  
(文藝春秋)



令和6年

8月10日 土 15:00開演  
(14:30開場)

会場 北九州市立男女共同参画センター  
ムーブ 2階ホール  
(北九州市小倉北区大手町11番4号)

参加費 無料 定員 500名



北九州市立  
松本清張記念館



お問合せ Tel.093-582-2761 Fax.093-562-2303

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2番3号 <https://www.seicho-mm.jp>

### 申込み方法

電子申請 右記二次元コードからお申込みください。

※個人情報とは本講演会のご連絡以外には使用いたしません。



往復ハガキ 往復ハガキに下記必要事項①～⑥をご記入の上、下記宛先までお送りください。

- ①代表者氏名
- ②住所
- ③電話番号
- ④年齢
- ⑤希望人数(代表者を含め4名まで)
- ⑥春日先生への質問(ある方のみ)

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2-3  
松本清張記念館「講演会」係

締切 令和6年7月19日(金)消印有効

※申込み多数の場合、抽選となります。